

わごころ通信

発行日：令和4年3月1日
 発行元：尾鷲市社会福祉協議会
 尾鷲市栄町5-5 TEL.22-3246
 HP: <http://www.owasewel.com>
 E-mail: info@owasewel.com

『わごころ通信』は、地域全体で生活を支える地域包括ケアの実現に向け、ゴミ出しや買い物などの生活支援体制をどのように整備していくか、この地域の取り組み状況や取り組み内容を生活支援コーディネーターの活動と併せて紹介しています。第6号ではこれまで市民ボランティアの方々と共に進めてきた話し合いの場「わごころ会議」から生まれた新たな取り組み、住民参加型生活応援事業「助っと」や、輪内地区で取り組もうとしている買い物支援事業「いこらい」の実証実験についてご紹介します！

住民参加型生活応援事業

助っと 実験中!!

以前ご紹介した地域での助け合い活動について話し合う場「わごころ会議」では、どんなことならできそうかを中心に、ゴミ出しや買い物支援などについていろいろな案や他の地域の取り組み事例などを聞きながら、「困っている人がいたら手伝うよ!」という方がより支援しやすく、困っている方が「お願い!」と言いやすいしくみについて検討を重ねてきました。



ボランティア同士の打合せ



頑張るぞ! エイ! エイ! オー!

「やってみないと分からない!」と始めた生活支援コーディネーターによる試験的実施の結果や、様々なアンケート調査などを踏まえ、有志の方々との打ち合わせにより、個人ボランティアによる生活支援のしくみとして、住民参加型生活応援事業「助っと」が生まれました。「助っと」という名前は「やってみよう!」と賛同していただいた方々が考えました。これから試験的に開始し、より参加していただける方が増えるよう見直しをしながらこ

の活動を育てていきたいと思えます。現時点では限定的な試験実施の段階ですので、今後の実施については追ってご案内させていただきます。また、来年度は「わがらの町の暮らしささえ合い塾」も実施を予定していますので、関心のある方はぜひご参加ください。

例えばこんなこと



生活支援コーディネーターも試験的に実施

生活支援コーディネーターが実施方法を検証・確認しながら、ボランティア会員さんに繋がります。



軽トラックを使った支援も模索中



高台に住む方のゴミ出し支援



買い物の代行支援



商店などの減少により、特に買い物に困りやすい周辺地区の買い物支援ニーズに対し、昨年度は昼間空いているデイサービスの送迎車両を使った実証実験を実施しました。いろいろな改善点が分かったため、体験された方や地域の方々から頂いたご意見や反省点を踏まえて一部内容を見直し、今年度新たに実証実験に取り組んでいます。町内に商店がない曾根町、梶賀町を対象に、社協が所有しているマイクロバスを使い、月1回市街地まで買い物に行きます。昨年度の実証実験やアンケート調査などから、特に生活雑貨や衣類など



は週に何度か来る移動販売でも売っていないため手に入りにくいという声が多く、そうした**普段買えないもの**を買いに行く支援として、また「**自分で見て買う**」という**楽しみ**を支援する**外出支援**として模索しています。

許可・登録が不要な形態による支援

バスやタクシー、自家用有償運送など運賃をいただく旅客運送事業の場合は、道路運送法に定められた許可や登録が必要となりますが、この取り組みは運賃をいただかないため、**許可や登録が不要な形態**で進めています。そうした形態での移送支援の模索が全国的にも広がっており、今回の取り組みはそうした他地域での取り組みを参考にしながら、この地域に必要な支援を模索するために実施しています。もちろん安全には十分配慮し、既存の市場サービスや地域での助け合いとの共存を大切にしながら、地域の方々とも話し合って取り組んでいきたいと思ひます。

Q. 何で月1回なの？
A. 昨年度体験された方からの声と、今ある買い物先や移動サービスとの共存のため、あまり便利にしすぎないように配慮しました。普段地域で手に入りにくいものを買いに行く手段と想定し、月1回としています。



地区の方々との協議

今年度の振り返り

今年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄され、できたこともあればできなかったこともたくさんあった1年でしたが、一方で「やってみなければ分からない!」とチャレンジしたことが、トライ&エラーを経て実を結ぶということを実感した1年でもありました。生活支援サポーター養成講座「わがらのまちの暮らし支えあい塾」に始まった生活支援の取り組みが、「わごころ会議」という話し合いの場を経て、様々な支援のカタチに繋がっています。これからいろいろな人が参加して助け合える優しいまちづくりを目指し、地域を駆け回っていこうと思ひます!

生活支援コーディネーター



山本



肉山